

最上川カード配布一覧



山形市
JR山形駅
3月4日～3月5日

もがみかわ
最上川

所在地：山形・福島県境の吾妻連峰～日本海
河川名：最上川水系最上川
延長：229km(全国7位)
流域面積：7,040km²
(全国9位、県土の約76%、13市17町3村)
河口川幅：380m
源流：火船の滝(米沢市)

「母なる川」最上川は、古くから経済・文化の大動脈であり、人々の暮らしに恵みを与える存在であったが、一方で、洪水や氾濫など人々の生活を脅かす水害の歴史も持つ。
昭和42年には未曾有の大水害が発生、この氾濫水害を契機に、堤防整備が加速化、そしてダム・治水地の整備へ。

トピックス 広重と最上川

江戸時代の浮世絵師・歌川広重は、全国の名所をまとめたシリーズの中で羽前の最上川と山を画している。舟のグライダーシップで表現された最上川を多くの帆船が往来していて、船時の舟運の隆盛を知らせてくれる。船の大きさと月山の姿からすると、河口の瀬田方面からの眺めだろうか。
広重は、天童藩輪田家の依頼による南無画「天童広重」や、山形城下を画いた「湯殿山道中略図」などを手がけていて、山形県との関わりは深い。



南陽市
南陽市役所
3月6日～3月10日

しょうごうせき
淞郷堰

所在地：山形県南陽市・川西町
河川名：最上川水系最上川
総取水量：2,819m³/s
ゲート形式：逆流型鋼製シェル構造ローラーゲート
ゲート数：3門
着工/完成年：1971/1976年

差懸堰は、河道の蛇行解消に伴い建設されたものであり、南陽市の水田に農業用水を供給している。

トピックス 宮崎地区の捷水路

昭和42年8月の氾濫水害を契機として、氾濫防止のための河床の安堵と農業用水の安定供給を目的に宮崎地区の農水協計画が立ち上がり、湯野川・和田川・松川(最上川本流)の各高水点下の蛇行箇所をショートカットした。

河川延長
施工前 3,000m
施工後 1,400m
旧河川の面影を今も残している。



高島町
中央公民館
3月21日～3月27日

ぬかのめ みすべ がっこう
糠野目 水辺の楽校

所在地：山形県高島町
河川名：最上川水系最上川
構成：3部構成
(水辺の空間・いよしの空間・手つがずの自然空間)
着工/完成年：2000/2001年
石像：4体

川の自然を活かし、「学び・遊び・体験」ができる空間、地域のひとたちと連携して水辺の楽校として各地に作られた。
ここでは地元河童伝説にちなみ「かっぱの石像」が設けられた。この河童の石像は、モニュメントであると共に、洪水時の川の水位変化を知ることができる。石像の背丈が、公団管理水位・水防団待機水位・氾濫注意水位・氾濫危険水位、それぞれ対応している。

トピックス 河童伝説

「松川の河童」
馬にいたずらをした河童に怒ったお百姓が、河童のいたずらをやめさせるように注文を書かせた途端、松川でおぼれた子供がなくなった。
河童おぼれは「おぼれ」呼ばれていた。

「かっぱの血流し」
頭を忘れた河童、その血を見つけた童が、河童を哀れに頼み事を書いて血と共に川に戻したことで、童の願いがつつぎと叶う。

最上川カード配布一覧



上郷ダム

最上川カード

朝日町
朝日町エコミュージアム
コアセンター創遊館
4月18日～4月23日

かみごう
上郷ダム

所在地：山形県朝日町
河川名：最上川水系最上川
形式：重力式コンクリートダム
ゲート：洪水吐 5門(鋼製ローラーゲート)
取水 2門(鋼製ローラーゲート)
魚道 1門(鋼製ローラーゲート)
堤高・堤頂長：23.5m・166m
総貯水量：766万m³
着工/完成年：1961/1962
管理者：東北電力(株)

上郷ダムは、最上川(五百川幹線の最下流)に唯一建設されたダムであり、水力発電を目的とする水利ダムである。最大出力1万5,400キロワット(一般家庭約6千戸分)の電力を発電し、山形市周辺に供給している。ダムの傍らには、上郷ダム公園が整備され憩いの場となっている。

トピックス 日本三大急流の理由

最上川は、球磨川(熊本県)、富士川(静岡県)と並び、日本三大急流のひとつに数えられている。しかし、最上川はどう見ても急流とは思えない。最上川には、五百川峡谷の崩落、最上川三難所の峯点・三分瀬・華など部分的に急流に見えるところが点在し、さらに芭蕉の俳句「五月雨を募めて舞い上り川」があるため有名だが、最上川全体が急流であるかのような印象を与えてしまったことが理由であると考えられている。



須川鉄道橋

最上川カード

山辺町
山辺町保険福祉センター
輝らりやまのべ
4月25日～4月28日

すかわけつどうきょう
須川鉄道橋

所在地：山形県山形市/山辺町
河川名：最上川水系須川
橋梁形式：二径間連続PRC下路斜版橋
三径間連続PRC下路桁橋
延長：264m
着工/完成年：1999/2004年
管理者：東日本旅客鉄道(株)

旧在沢橋旧須川鉄道橋(1921年完成)は、鉄道橋の延長が川幅に比べ短いため、橋土部分が河川敷に張り出し洪水時に崩れが恒常され、流下能力不足と内水被害の懸念となっていた。
国土交通省と河川本流は、鉄道橋を新たに架け替え、張り出した橋土を撤去し、さらに堤防や護岸、河床整備を一体的に進め、洪水に対する地域の安全度が向上した。

トピックス 須川かわまちづくり

須川沿川では、住民・自治体・国により「かわまちづくり」の協議会を立ち上げ、魅力ある水辺の空間作りを進めている。サイクリングロードやパークゴルフ場、船着き場など地域住民が水辺を介して地域交流できる新たな「にぎわい」作りが一段落している。
河川整備は、水を防ぐ治水だけではなく、地域ネットワークや住民の生活に根ざした新たな環境整備にも取り組んでいる。



白鷹山レーダ雨量計

最上川カード

白鷹町
白鷹町中央公民館
5月2日～5月8日

しらたかやま うりょうけい
白鷹山レーダ雨量計

所在地：山形県白鷹町
標高：983m
周波数：5.27GHz
観測範囲：半径300km
解像度：250mメッシュ
着工/完成年：1987/1988年

白鷹山頂に設置されたレーダ雨量計。平成26年7月に設置を完了し、より詳細な雨量観測が可能となった。水平線と雲頂間の2種類の電波を送り、雨雲の扁平度等から雨量を推測することで高精度な観測を行っている。
設置当初は、東北の第2号機として東北の中南部から関東北部を観測できた。現在は、青森から東京まで観測できる。
なお、観測結果を基にWebサイト「RAIN(ニックスレイブ)」では、リアルタイムに雨量の把握をすることができ、

トピックス 白鷹山伝説と鷹山公

時は奈良時代、法相宗の高僧 行基がこの地を訪れた際、山並みを望むと一羽の「白い鷹」が飛来。突然光を放ち、雲霧がたなびく荘厳な地景を目の当たりにする。これを鑑み、空蔵菩薩の現れと悟り、山頂に菩薩像を祀って「白鷹山」と命名した。
米沢十代藩主の上杉治憲は、厳かな白鷹山にあやかり「鷹山」を名乗る。そしてこの肥よくな地に墓目し、築稲垣と養蚕を奨励。藩財政の立て直しに取り組んだ。

最上川カード配布一覧

多自然かわづくり(村山野川) 最上川カード



東根市
東根市役所長瀬公民館
5月10日～5月15日

たしげん むらやまのがわ 多自然かわづくり(村山野川)

所在地: 山形県東根市
河川名: 最上川水系村山野川
延長: 2km
構成: 自然とのふれあいゾーン、自然保安ゾーン
着工/完成年: 1992/1996年
管理者: 国土交通省

最上川支川の村山野川では、最上川合流部から2kmにわたり自然にやさしい川づくり、川らしい川づくりを合い言葉に、生態系に配慮した河川整備を実施。
付近は、「古最上」と呼ばれ、動植物や魚類などの豊かな生態系を持つ自然環境に恵まれた水辺である。この豊かな生態系を保ち自然に親しむ場を整備しつつ、村山野川の洪水に対する安全度を上げ、流入する帯口川の汚染水を貯く取水器を整備された。「多自然かわづくり」は、川づくりの基本として河川事業に取り入れられている。

トピックス 海老鶴沼

明治37年頃の地図では、最上川は大きく蛇行し藤助新田地区の沼口付近で二股に分かれ流れていた。昭和初期に、治水対策として蛇行箇所をショートカットする直水筋(しょうすいじん)事業を実施。これにより、田舎川に付近が湿地帯となり、ヨシ、ヤナギなどが発生。そして沼が形成された。野鳥の営巣地でもありバードウォッチングや釣り場として注目されている。

天童豊栄床固 最上川カード



天童市
天童最上川温泉ゆぴあ
5月17日～5月21日

てんどうとよさかごがため 天童豊栄床固

所在地: 山形県天童市
河川名: 最上川水系最上川
本体: 堰工、遮水矢板
全断面魚道: 魚道ブロック(アイスハーバー型)コンクリートブロック
幅員: 250m
着工/完成年: 1997/1998年
管理者: 国土交通省

床固とは河床の洗掘を防ぎ、河川の勾配を安定させるための施設である。最上川(川合流点)に設置された天童豊栄床固は、昭和49年度に設置されたが、堰で施設被害が発生しその都度修復を行ってきた。しかし、平成9年6月洪水で施設が大きく損壊したため、大規模な復旧工事を行っている。
この際、治水・利水・環境の面から大規模改善が図られている。特に魚が上りやすい川づくりのため、異なる魚道を組み合わせ、水位低下時にも機能するような工夫がなされている。

トピックス 須川の水質

最上川の支川である須川は、流域に興玉温泉を抱えており、支川野川及び高王川を通して温泉水などの強酸性水が流入し、須川の中流部より下流はpH3.0～4.0で魚の生息に適さない水質区間となっている。しかし、下流に行くに従って馬見ヶ崎川などの支川が流入し、徐々に酸性度は弱まり最上川に合流する。高河江市と天童市に接する村山橋、又は天童豊栄床固ではほぼ中性となる。

日本一の芋煮会 最上川カード



山形市
山形市役所
5月23日～5月26日

にほんいち いもにかい 日本一の芋煮会

所在地: 山形県山形市
河川名: 最上川水系馬見ヶ崎川
大径: 直径6m
名称: 親太郎(現二代目)
開始年: 1989年
主催: 日本一の芋煮会フェスティバル協議会

秋、山形の河川には、「芋煮会」といって賑やかになる。芋煮の発祥は、中山町長崎にて船師たちが近くの小畑地区の里芋を買い求め、舟で運んできた餅類と煮て食べたのが始まりと伝えられている。
現在、山形市の馬見ヶ崎川(親太郎)にて、毎年9月(敬老の日前日の日曜日)に「日本一の芋煮会フェスティバル」が開催されている。大鍋と重機を使ってできる芋煮は、格別の味であり、県内のみならず隣県各地から大勢の人たちが訪れる一大イベントである。大鍋は、今年も出番を待たず馬見ヶ崎川を静かに眺めている。

トピックス 山形五堰

笹堰(ささげき)・御殿堰(ごてんげき)・ハヶ郷堰(はっかごうげき)・宮町堰(みやまちげき)・双月堰(そうつきげき)の五つの堰(農業用水路)の総称で、城塞への水の供給と農業・生活用水の確保のため、約400年前に造られたといわれている。
馬見ヶ崎川から一括取水され、西に向かって枝分かれを繰り返しながら市街地を流下していく。網の目のように流れている堰は、全国でもめずらしく、山形市の景観の特徴であり歴史的財産となっている。(全長約115km)

最上川カード配布一覧

源流の森

最上川カード



飯豊町
町民総合センター あ〜す
5月31日～6月5日

げんりゅう もり 源流の森

所在地：山形県飯豊町
河川名：最上川水系霊陽白川
面積：約120,000㎡
着工/完成年：1994年/1997年
管理者：山形県

白川ダムの湖岸には、オートキャンプ場やパークゴルフ場、白川源泉などが集まった公園が整備され賑わいの場となっている。春の飯豊町には、洪水になった白川源流から生えるヤナギの木が水没林となり幻想的な空間を作り出すと併し、湖岸緑地に望む残雪残る飯豊山や湖岸公園の桜を同時に楽しむことができる。

トピックス 白川ダムカレー

ダムカレーとは、ダムをモチーフとしたカレーである。ご飯を堤体、カレーをダム湖とし、ダムを賑わす新しい魅力となりつつある。

白川ダムカレーは、季節毎にダム周辺の景色に合わせた色合いを合わせ、彩り豊かな春から雪深い冬まで、表情豊かな飯豊町の四季を皿一面に表現している。



元宿川水門

最上川カード



川西町
川西町フレンドリープラザ
6月7日～6月11日

もとじゅくがわすいもん 元宿川水門

所在地：山形県川西町
河川名：最上川水系元宿川
ゲート：鋼製ローラーゲート×2門
純径間 19.50m × 扉高 9.05m
着工/完成年：1973年/1976年
管理者：国土交通省

元宿川が流れる川西町は、昭和42年(1967年)の羽越水害にて大きな浸水被害が発生している。戦後最大規模となった羽越水害は、最上川の治水計画を根本的に見直す契機となり堤防整備の進捗のほか、ダム浸水地の計画され建設に繋がっている。

一方、浸水被害が発生していた元宿川においては、蛇行していた河道を直線化し、さらに水門を設けた。水門は、洪水時に最上川から元宿川への逆流による大規模な浸水被害を軽減し、また堤防の役割を果たす大切な役割を担っている。

トピックス 元宿北遺跡

川西町は、歴々の栄えの栄の一つで、国指定史跡の下小松古墳群など有名な古墳や遺跡などを数多く有する。最上川合流点付近の元宿北遺跡からは、奈良・平安時代の河川跡、井戸跡などや陶器などの遺物が出土。古くからこの地が開発されていたことがわかる。

旧最上橋

最上川カード



大江町
町民ふれあい会館
6月14日～6月18日

きゅうもがみばし 旧最上橋

所在地：山形県寒河江市/大江町
河川名：最上川水系最上川
橋梁形式：鉄筋コンクリート開腹アーチ橋
径間数：3径間
延長：97.6m
完成年：1940年
管理者：寒河江市/大江町

最上川舟運とともに昭和の大江町の歴史を刻んできた旧最上橋。3径間なる美しいアーチ橋で、昭和がなれた丸コンクリートと鋼骨。そしてアーチ部分の白色と川面とのコントラストが美しい。地元では「太鼓橋」との別名も。

2003年に左京バイパスに伴い新しい「最上橋」が完成したため交通拠点としての役目を終えた。しかし、同年公益社団法人土木学会から歴史的土木建造物として評価され「重要土木遺産」に認定。旧最上橋は、大江町のシンボルとして親しまれ、その美しい姿を今でも水面に映しつつ景勝地の歴史を刻み続ける。

トピックス ヤマガタダイカイギョウ

昭和53年夏、二人の小学生が大江町舟運を渡れる最上川の川床で大きな骨の化石を発見。山形県立博物館が発見し、アメリカ・ハーバード大学で鑑定が行われた結果、世界的に貴重な新種の大海牛化石であることが判明。和名「ヤマガタダイカイギョウ」と呼ばれることとなった。海牛類の進化を解明する世界的に貴重な化石であり、山形県指定天然記念物となっている。化石は山形県立博物館で大切に保管されている。

最上川カード配布一覧

直江石堤

最上川カード



米沢市
よねざわ市民ギャラリー
6月20日～6月25日

なおえせきでい 直江石堤

所在地：山形県米沢市
河川名：最上川水系最上川(松川)
延長：(当時)約10km(現在)約1.2km
形状：台形(上辺約5m、下辺約9m、高さ約2m)
工法：野面積(のづらづみ)
完成年：1613年(一説)

慶長5年(1600年)の関ヶ原の戦いに敗れた上杉家領は、会津120万石から米沢30万石に減封。石高を4分の1に減らされた米沢藩は、財政難となった。

藩の重臣である直江兼続は、暮れ川だった「松川」(現最上川)の水害を防ぎ米沢城下を発展させようとした。兼続自ら赤崩山(あかくづれやま)に登り、地形的に堤防がなくてはならないと判断、松川の川原石を用いて大規模な堤防を築いたのである。

トピックス 源流

源流(水源ともいう)。辞書によると、「川などの流れ出るもと。ある川のもとのなる水の流れ。」などがある。

では、最上川の源流は、どこにあるのか。最上川は、上流域が広く、いくつもの川を集めて大きな流れとなっている。そのため、米沢市の「松川」や「大樽川上流、黒瀬、黒瀬、飯盛町の「白川」など、数々の場所が挙げられている。さらに「最上川源流」の碑が設置されている場所もある。

昭和39年(1964年)、河川法が改正された際、「松川」が最上川の一つの支流として名称が統一され、その上流部の「火格滝(ひのほえたき)」が源流として定められた。

大久保遊水地

最上川カード



河北町
河北町総合交流センター サハトベに花
6月27日～7月2日

おおく(おゆう)すいぢ 大久保遊水地

所在地：山形県村山市/河北町
河川名：最上川水系最上川
洪水調節方式：全面越流方式
面積：200ha
洪水調節量：200m³/s
調節容量：9,000,000m³
管理者：国土交通省

大久保遊水地は、洪水のときに一時的に水を貯め、下流に流れる水の量を減らすことにより氾濫を防ぐ施設である。普段は農地として利用されている遊水地。洪水時に貯めた水は、最上川の水位が下がった時点で水門から排出される。

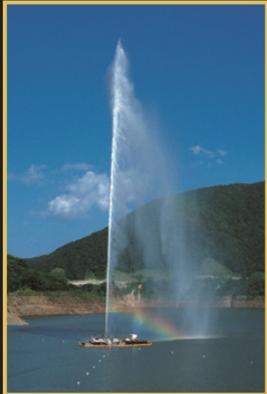
トピックス 舟運と紅花

紅花は、原産地の地中海沿岸からシルクロードを経て8世紀頃渡来した。時を経て江戸時代に山形で盛んに栽培されるようになる。最上川沿いの気象条件が栽培に適した上に、舟運の発達に伴う商人の活躍により「最上紅花」として全国に名を馳せることとなる。

舟運の発達した最上川だが、村山地方で収穫された紅花はすぐには舟に乗せられることはなかった。「紅花一舟命一舟」と言われるほど危険だった紅花は、河北町の葛原から始まる三ヶ瀬、最上川の三瀬所における転運を避けるため、羽州街道より大石田へ陸送される。その後舟に荷積みし酒田へ下り、敦賀より京都を目指した。

月山湖大噴水

最上川カード



西川町
西川交流センター あいべ
7月4日～7月9日

がっさんごだいふんすい 月山湖大噴水

所在地：山形県西川町
ダム名：寒河江ダム
噴水出力：ディーゼルエンジン
ノズル：直上ノズル、8本の誘導拡散ノズル
噴射高：112m 日本一の高さ
着工/完成年：1989年/1990年
管理者：西川町

水にこだわった町づくりのシンボルモニュメントである月山湖大噴水。毎年4月下旬から11月上旬にかけて打ち上げている。雄大な自然の中に出現する水のモニュメントは観音高日本一の112m。

寒河江ダムは112という数字にまつわる逸話があり、寒河江ダムの高さ(最高)112m、寒河江ダム建設のために移転された方々の戸数112戸、寒河江ダムに隣接する国道が112号線、寒河江ダム竣工の日時が11月2日、11時20分に行われた。

トピックス 大噴水ダムカレー

ダムカレーとは、ダムをモチーフとしたカレーであり、ご飯を堤体、カレーをダム湖とする。

大噴水ダムカレーは、寒河江ダムが形成する月山湖の大量水をイメージしたダムカレー。シシトウの噴水は大きな名産エビフライに、ロケットダムをイメージしたニンジンパターライスと大きき野菜に鳥唐揚げも入りボリューム満点。



最上川カード配布一覧

フットパスながい

最上川カード



長井市
道の駅 川のみなと長井
7月11日～7月17日

フットパスながい

所在地：山形県長井市
河川名：最上川水系最上川
主要施設：散策路、小橋梁、河川横断施設など
着工/完成年：2004/2004年
管理者：長井市

フットパスは、イギリスで発祥した「歩くことを楽しむための道」のことである。最上川沿いには、自然や歴史を感じながら歩くことができるフットパスが各所に整備されている。

なかでも、長井市のフットパスは、舟運で賑やかだった船着き場などに趣いを添えつつ最上川沿いの自然を堪能できる。さらに、市内に於いては「川からまちへ、まちから川へ」をコンセプトに、まちと張り巡らされた水路との動態を確保し、水辺空間と魅力ある町なみを活用した、長井市の観光振興に活用されている。

トピックス 三淵渓谷

長井町のダム最上川には、都にや3れた女の悪い物語「那の花壇伝説」が残る三淵渓谷がある。ダム開き、行く先が三淵渓谷。そこには古くから祀られている三淵神社があり、深谷を走り抜けながら急流が激しく、切り立つ絶壁の深谷を奥へ奥へと進み、自然の景色にしばし言葉が失われつつ賑やかな空気に包まれる。

三淵渓谷は、ダムの完成と併せてできた新たなスポット。NPOの法人最上川パークリズムネットワークが行うポーターリングで訪れることができる。



大旦川水門

最上川カード



村山市
村山市総合文化交流施設 飯葉プラザ
7月19日～7月23日

おうだんがわすいちん 大旦川水門

所在地：山形県村山市
河川名：最上川水系最上川大旦川
ゲート：鋼製ローラーゲート×2門
本体：全長57.5m 高さ12.7m 幅20.3m
着工/完成年：1990/1993年
管理者：国土交通省

大旦川は、奥羽山脈の高岳（こしきだけ）を源とし村山扇状地を流れ、大沢の狭窄部上流で最上川に合流する。大旦川水門は、最上川の洪水が大旦川に逆流するのを防ぐため1934年（昭和9年）に建設。旧水門が老朽化したため改築し現在の姿となった。

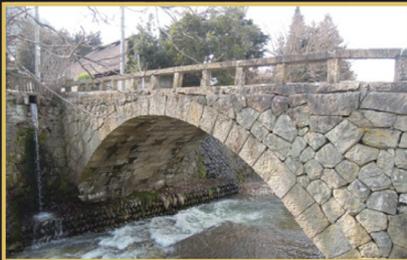
また、水中ターゲータンク（排水能力1,000t）10台を配置した排水機場があり、水門を閉じた時に流れ来る大旦川の河川水を最上川へ排水する働きをする。平成26年7月の梅雨前線に伴う洪水では、浸水面積147haの被害を軽減したものと推定されている。

トピックス 大沢

最上川が大きく蛇行し、その文字のごとく川の流れが大きく流む景観から大沢と命名された。三瀬所の中間地点にあたる大沢の「三ヶ瀬」近くは川幅は広くて深く、比較的穏やかな流れのため舟運時代には船着場が置かれた。当地には船着場立ち並び、開所を乗り越えてきた船客たちの休息の場として栄えたという。今も、大沢の流れは穏やかで、悠久の時を刻む最上川の代表的な景勝地となっている。

新橋(石橋群)

最上川カード



上市市
上市市立図書館
7月25日～7月31日

しんばし(いしばしぐん) 新橋(石橋群)

所在地：山形県上市市
河川名：最上川水系金山川
橋梁形式：石造アーチ橋
延長：14.7m
完成年：1880年
管理者：上市市

明治初期に三島運賃が廃止になると、西洋の土木技術が導入され、多くの石橋が架けられるようになった。今なお山形に残存する石橋は、11橋。うち上市市には4橋残っている。この11橋は「石橋群」として2009年に重要土木遺産に認定された。

上市市橋下の新橋は、「石橋群」のひとつ。この橋は、当時から三百円を下附金として補助され、残り七百円は地元が立て替えて架けられている。ゆえに通行人や入力車などから徴収して徴収したという珍しい橋である。

明治初期から今に至るまで生活に利用されている石橋。自動車が何気なく通行するその光景すら、遠郷と懐く時の流れを感じさせる。

トピックス 山形県民の歌

「丘を野をながりゆけども最上川 うみに入るまでにごらぎりけり」
昭和天皇が、大正14年に「風にたが」最上川の橋を、その翌年の「歌会始」において採られた歌である(後に作曲がなされ「山形県民の歌」となっている)。
戦後昭和22年、昭和天皇は山形県内を巡行した際に、停留していた取人の橋頭野原で上市市の景観へ関心があった。この時を機に作られた歌は「最上川は大河でございます。海に入るまで、にこらないわけにはまいりません」と答へ、しばし会話はずんだの逸話が残る。

最上川カード配布一覧

河川防災ステーション

最上川カード



中山町
中山町立図書館ほんわ館
8月2日～8月6日

かせんぼうさい 河川防災ステーション

所在地：山形県中山町
河川名：最上川水系最上川・石子沢川
主要施設：防災ステーション
水防資材の備蓄基地
監視ヘリポート
竣工/完成年：1995/1997年
管理者：国土交通省

東北地方ではじめて国で整備する水防拠点となったのが奥村山地区河川防災ステーションである。河川防災ステーションは、水防活動を行う上で必要な土砂などの緊急用資材の備蓄や緊急輸送のためのヘリポートを備えている。さらに、洪水時には水防活動を支援すると共に災害が発生した場合には緊急復旧などを行う基地となる。一方、平常時は地域の交流の場として最上川せせらぎ公園と一体的に活用されたい場となっている。

トピックス せせらぎ水路

河川防災ステーション前の「最上川せせらぎ公園」には、最上川を整った水路が整備され観水スポットとして多くの人に親しまれている。水路は「せせらぎ水路」と呼ばれ、公園より下流にある三郷堰の落差を利用した水中車駆動ポンプから取水し、上流の公園まで1800m区間を自然の力で送水している。



ふるさと総合公園

最上川カード



寒河江市
道の駅寒河江チェリーランド
8月9日～8月13日

そうどうこうえん ふるさと総合公園

所在地：山形県寒河江市
河川名：最上川水系最上川
施設面積：27.5ha
公園施設：センターハウス(イベント会場・カフェ等)
パークゴルフ場、フルーツガーデン、
スケートパーク、ドッグラン施設等
管理者：山形県

最上川ふるさと総合公園は、山形県のはほ中央・寒河江市の南に位置する県営の都市公園で、「寒河江ハイウェイオアシス」として平成12年4月に開設された。

最上川沿いに整備された公園からは、月山や鳳王などの雄大な景観を望むことができる。また、立地条件を活かしサクラソウが(奥の水で、全国一の生産量を誇る黒龍)などの県産品を園内に栽培し、訪れた方が山形を体感できる公園を目指している。

トピックス グリバーさがえ

「グリバーさがえ」は、寒河江市が平成25年度に開設した都市公園である。全国でも珍しい完全管理型の多目的水辺広場と多目的発生在庫を備え、一年を通して多くの利用者に開放している。施設では、カヌー競技などのスポーツを楽しむことができるほか、講習などを通じて水辺の楽しさや危険性を伝えるための様々なプログラムを実施している。

ひなみに「グリバー」の意味は、森の空を舞う「グリフィン」と川を渡る「リバー」の造語とのこと。



羽越水害

最上川カード



小国町
ショッピングセンター アスモ
8月15日～8月20日

うえずいがい 羽越水害

被災地域：山形県の23市町
降雨：最大時間雨量70mm、最大累加雨量572mm(小国町)
水位：最高水位15.94m(下野水位観測所 既往第1位)
最高水位13.50m(小出水位観測所 既往第1位)
被害総額：約226億3,900万円(当時)
被害総額：約597億1,900万円(2015年換算推定額)
発生年月日：1967年(昭和42年)8月28日～29日

悪化した前線は、28日夕刻から29日未明にかけて山形県南部から新潟県北部にかけて記録的な豪雨をもたらした。大蛇を流れる洪水は河川へ押し、この地域を水源とする最上川(山形県)、荒川、畷内川(後に新潟県)では戦後最悪の水害となる。

小国町では、町内の赤芝橋をはじめ、各所で道路や鉄道が流出寸断され、通信関係も途絶。完全に孤立状態に陥ったこの大洪水は、最上川の治水計画が見直される契機となった。

トピックス ぶんすい 分水嶺

小国町に降り注ぐ雨は、最上川には一切流れず、荒川から新潟県を抜け日本海に注がれる。飯豊町と小国町との町境が、最上川水系と荒川水系との「分水嶺」になっているためである。しかし、流れる大地は進めど同じ日本海に注がれる。

一方、最上町埴田にある分水嶺は、奥羽山脈にあり、日本海と太平洋に分かれる「大分水嶺」と呼ばれる。平坦な場所であり、分岐点を目の前に見ることができる全国的にも珍しい「分水嶺」である。